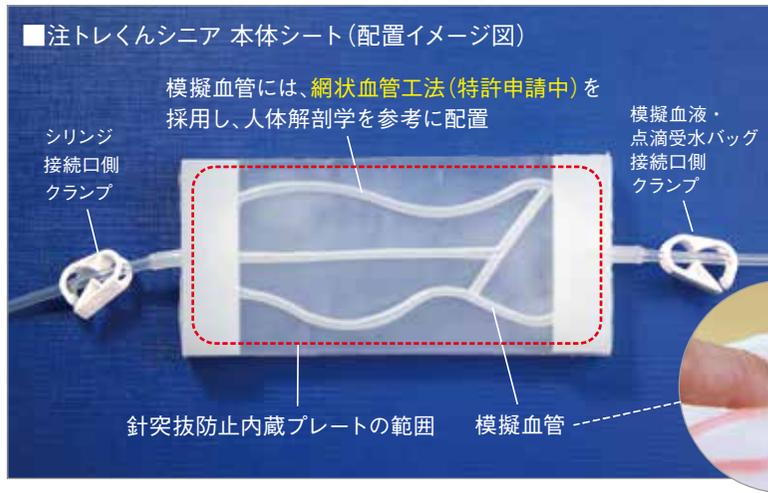


注トレくん本体の特長



◆左肘窩付近の血管位置を学びながら、模擬血管 直・蛇行への穿刺の練習ができるシートです。

◆一人でも二人でも練習ができ、模擬血液を使い採血・点滴などのリアルな練習も可能です。またサーフローでのバックフローも体験できます。

◆本体の模擬血管部分はシリコン製、皮下は弾力があるポリウレタン樹脂製で、血管の怒張もリアルに再現しているので触診練習にもお役立ていただけます。

◆付属の「左肘窩図解」台紙には、末梢静脈注射時に理解しておきたい血管や神経の位置を図解でわかりやすく説明しています。

◆付属の「参考資料」「左肘窩図解」台紙は、金沢大学名誉教授 中谷 壽男先生のご研究を基に作成した資料です。末梢静脈注射時の参考としてご活用ください。

！ 使用上のご注意 正しくご使用いただくために、必ずお守りください。

<製品について>

- ① 実際の人体の静脈をイメージして製造していますが、**実際の人体と模擬血管の硬さや状態等は異なります**のでご了承ください。
- ② 本体シートの素材の硬さは、素材の性質上多少の差が生じる可能性があります。ご了承ください。
- ③ 本体シートの裏面は、高い粘着性をもっております。**塗装のはがれやすい台へ**の貼付後、剥がす際に塗装が剥がれる恐れがあります。**塗装の剥がれやすい台での使用はお止めください。紙等が付着すると剥がれない恐れがあります。**
- ④ 使用後に、**貼付した台から本体シートを剥がすときには、針突抜防止内蔵プレートに手を添えて剥がしてください。**端だけをつまみあげると、突抜防止内蔵プレートが本体から剥がれる可能性がありますので、手を添えて、丁寧に剥がしてください。
- ⑤ 製品の素材の性質上、穿刺練習により本体製品に針の刺し跡が残ります。本製品は頻回な練習用教材を目的として開発した消耗品のため、穿刺練習の方法によっては使用回数、耐久性に差が生じます。そのことをあらかじめご理解の上、ご活用ください。
- ⑥ **模擬血液・点滴受水バッグの着脱時など、模擬血管を強く引っ張らないでください。**
- ⑦ **クランプを閉じたまま模擬血液の充填やシリンジで空気を注入すると本体模擬血管の破損、液漏れする恐れがありますので、使用中はクランプを閉じないでください。**

<素材について>

本体シートの土台はポリウレタンでできています。ポリウレタンの性質上紫外線により、変色する可能性があります。使用しない時は専用ケースに保管して紫外線に当たらないようにしてください。また万一、変色しても用途には支障がありませんので、そのままご使用いただけます。変形の原因にもなりますので、長時間水に浸さないでください。

<模擬血液について>

- ① 模擬血液を利用する場合は、染料(別売)を水に溶いてご利用ください。**染料は衣類などに付着すると取れません。付着した場合速やかに水で洗い流してください。**また、机についた場合アルコール綿で拭くと取れる場合があります。
- ② 一度穿刺した模擬血管に模擬血液・点滴受水バッグを接続した状態で押ししたり、持ち上げたりして模擬血管に圧をかけると、穿刺した穴から液漏れします。**バッグを吊ったり、押ししたり、持ち上げたりしないでください。**

<使い方について>

- ① **必ず、資格を有する指導者の指導の元で、練習をおこなってください。**
- ② 注射針を使用した練習は、注射針の使用の許可が必要です。各所属の教育担当者様、施設管理者様への確認の下、ご使用ください。
- ③ 針突抜防止内蔵プレートは、本体シートの構造上模擬血管の下のみ配置されています。本体シートの外縁、バンド固定部分の上下の端にはありませんので、静脈注射の練習は、必ず模擬血管の真上からおこなってください。**針突抜内蔵防止プレートをはずれた部分での針刺しは絶対にお止めください。**

(4)

取扱説明書



注トレくんシニア

看護学生、新人ナースの教育現場や、
復職看護師、IV ナース研修でも活用する
「末梢静脈注射」の練習用教材セット

このたびは、「注トレくんシニア」をお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みいただいた後は、大切に保管し、必要な時にお読みください。本製品は、末梢静脈注射の練習用のツールとしてご活用ください。

左腕の末梢静脈周辺の解剖の理解と注射の手技を実施するうえでの注意点などを確認していただくためのもので、医行為を保証するものではありません。

本製品の目的

この製品は、末梢静脈注射の認められた医療者・救急救命士とその学生のための技術習得を目的とした練習ツールです。また、**医行為を保証するものではありません。**充分ご理解のうえご使用ください。

製品内容



- ① 末梢静脈注射練習シート「注トレくんシニア」(本体)内蔵内容
・ 模擬血管シート1枚・接続口2個・クランプ2個
・ 針突抜防止内蔵プレート
- ② 模擬皮膚シート.....1枚
- ③ 腕巻き補助バンド ベージュ(マジックテープ)×2本
- ④ 模擬血液充填用シリンジ.....2種
- ⑤ 「左肘窩図解」台紙.....1枚
- ⑥ 模擬血液・点滴受水バッグ(キャップ付).....一式
- ⑦ 吸水シート.....1枚
- ⑧ 専用収納ケース.....1箱
- ⑨ 取扱説明書(本紙)
- ⑩ 参考資料

※手袋、注射針、注射器、駆血帯(ゴム紐)は製品に含まれません。また、(株)ナースあいでは注射器、注射針のお取り扱いができません。★付属の備品類は仕入などにより変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

製品の仕様

<品名>末梢静脈注射練習シート「注トレくんシニア」

<サイズ>本体シート/(本体のみ(最大))縦150×横69×厚み17mm、**収納ケース**/(最大(取手使用時))横幅227×奥行140×高さ130mm

<総重量>約450g <材質>本体/シリコンシート・ポリウレタン・ポリエチレンプレート・シリコンチューブ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、当社ご相談窓口までご連絡ください。開封時に不良がわかりましたら無償交換いたします。ただし、一度使用されたものに関しての交換は一切応じることができませんので予めご了承ください。

ナースの現場で必要なものを、アイデアから形へ



◎ご相談窓口

製品販売元/株式会社 ナースあい 神戸市中央区橋通1丁目2番14号 浅見ビル1階
TEL: 078-599-7644 FAX: 078-599-7645 URL: http://chutrakun.com

AI0006-man2310

©「注トレくん」は、ナースあいの登録商標です。

使用方法 ※必ず、資格を有する指導者の指導の元で、練習をおこなってください。

① 準備

【模擬血液バッグを使用する場合】

★水(模擬血液)に別売の染料を入れると、よりリアルな練習ができます。繰り返し使用することができ、準備・片付けも簡単です! 汚れ防止のために吸水シートをご活用ください。

- ① 模擬血液・点滴受水バッグにカテーテルシリンジの外筒のみを接続し、直接、水(模擬血液)を入れる。
- ② クランプを閉めた状態で、使用する模擬血管の接続口に接続する。
- ③ 全てのクランプを開け状態にする。
使用する際はクランプを開けたままにする。
- ④ 接続口の反対側の血管の端から空のシリンジを接続し、血液を吸引し、隔々まで充填する。



【使用上の注意】①使用中は常に模擬血液バッグと本体のクランプは開放したままにしてください。閉じたままシリンジから空気や模擬血液を注入すると液漏れや模擬血管が破裂する恐れがあります。
②模擬血管に空気が入った場合、適宜接続しているシリンジで模擬血液を吸引して充填してください。

【模擬血液バッグを使用しない場合】



模擬血液・点滴受水バッグを接続せず
に使用します。
正しく模擬血管に針が入っていると、
空気が引けます(二人で練習する場合も
同様)。

すぐに練習できる!

④ 片付け

- ① 接続しているシリンジを使い、空気を送り模擬血液をバッグ内へ収納する。その際、本体を持ち上げながら(右写真参照)シリンジで空気を送り込むとスムーズに作業ができる。
- ② 模擬血液バッグのクランプを閉める。
- ③ 接続を外し、模擬血液バッグのキャップを付ける。



② 使用目的に合わせて

【二人で練習する場合】

- ① 模擬血液を充填した本体を練習相手の腕に装着する。
- ② マジックテープ式の腕巻き補助バンドを使って本体を腕に固定。本体の設置位置は状況に応じて調整する。マジックテープの起毛側が肌に当たるように巻き、閉めすぎないように固定する。
- ③ 模擬皮膚シートを活用すれば、より難易度の高い練習ができる。使用時は本体と一緒にマジックテープで(上部のみ)固定する。
- ④ 駆血帯などを利用し、実際の手順も含めた練習をおこなうことも可能。
※無くても練習可能



★皮膚に異常がある場合は、皮膚への直接の装着はお止めください。
★本体を腕へ装着する場合は、安全な練習のために必ず2本の補助バンドを使用してください。

【一人で練習する場合】

机など安定した台の上に、本体シートを貼り付けて手技をおこないます。
※「注トレくん」を張り付けて練習しようとする机の表面の塗装が取れないか、確認してください。



③ 手技の練習…注トレくんシニアでできること

【逆血確認・採血(注射器・真空)】

逆血確認・採血の手順に沿って穿刺し、模擬血液を吸引する。正しく模擬血管に針が入っていると、模擬血液を吸引できます。



【点滴・静脈注射】

模擬血液・点滴受水バッグを接続することで、実際に(模擬)点滴の滴下や(模擬)薬液の注入が可能です。



【留置針の穿刺や固定】

留置針の穿刺でのバックフローが再現できます。(模擬血液バッグは収納ケース上に設置して留置針の穿刺部位より高い位置で使用する)



【付属の教材を活用して刺入角度などを確認する】

付属の専用台紙には「採血針」、「留置針」の刺入方法についても解説しています。

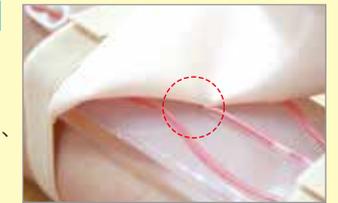


「左肘窩図解」台紙ウラ面の「刺入角度チェックコーナー」を参照して正しい刺入角度を練習することができます。



【模擬皮膚シートを活用して本体1台で二役の活躍】

模擬皮膚シート(ベージュ)を使用することで、触診により血管を探しながらの穿刺練習ができます。
また穿刺後、針先が正しく(模擬)血管に刺入できているかどうか、針先の状態や成否について模擬皮膚シートをめくり、確認できるので穿刺の正しい成功体験を得ることができます。



【本体シートのお手入れについて】



本体シート裏面の粘着部分に汚れが付いたとき、また粘着性が低下したときは、水か湯ですすぎ洗いし、振って水気を落とし乾燥させてください。紙や布で直接粘着面を拭くと、繊維が付着する恐れがあります。使用後は、本体シートを「左肘窩図解」台紙に貼り、「専用収納ケース」に入れて保管してください。
※模擬皮膚シートは素材の性質上、折り曲げたり、丸まったまま保管すると折り目や跡が残ります。収納ケースに入れて保管する際には、平らになるよう一番下に入れて保管してください。

★長時間水に浸しておくと変形する恐れがあります。

お手入れもカンタン!

★カビの発生の原因となりますので、模擬血液・点滴受水バッグ内の模擬血液は使用の度に破棄してください。

※「注トレくん」は模型であり血管や神経は簡略化し、実際とは異なります。※手袋、注射針、注射器、駆血帯(ゴム紐)は製品に含まれません。